



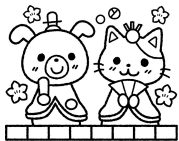
令和6年3月1日

3月 ちびっこの森通信

vol.82

☆★今月のテーマ★★☆

- ・ひなまつり会や発表会など季節の行事を楽しむ。
- ・身近な自然の変化に気づき、春の訪れを知る。



うさぎぐみ(0歳児)だより



年度末近くとなり月日の経つ早さと共に、こどもたちの目を見張らされる成長ぶりに改めて驚かされる今日この頃。こどもたち同士で「鬼は外っ〜！」と豆まきごっこまでは余裕でしたが突如、赤鬼の登場には何が起きたのか理解出来ず状態であただだ呆然としたり、泣きわめいたり大変な思いをしたものですが…そこは頼もしいお兄ちゃんたちの援軍もあり、事なきを得てホッと一安心。これもいい体験として心に刻まれることなのでしょう。最近では仕草、表情や動きも以前とは比べものにならないくらいに大きく変わってきており、これは今月の生活発表会でもその一端が披露できることを祈念しています。



うさぎぐみ(1歳児)だより



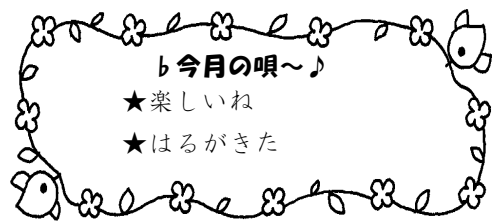
暦は春ですが、まだまだ余寒が心配な時季ですが、こどもたちは大きな病気もなく元気に過ごせています。先月は何と言っても「節分」がメインで、その由来等を聞いた後は前置的な和気藹々とした雰囲気での豆まき遊びで盛り上がっていたのも束の間…みんなは、一気にその場を乱す勢いで出現した赤鬼に右往左往状態。でも、中には、正義の味方のお兄ちゃんたち戦士が果敢に悪の象徴の赤鬼の前に立ちはだかり、成敗してくれたのでみんなはホッと胸を撫でおろすことができました。その他、戸外は線路沿いにある、ちょっと距離のある公園で鉄棒やブランコを楽しむ姿が広がっています。今月の生活発表会ではお遊戯や合奏を見ていただけるように準備を進めています。えう、ご期待下さい。



ぱんだぐみ(2歳児)だより



いよいよ園生活にピリオドを打つ日が刻一刻と迫ってくる3月・弥生となりました。一人ひとりが年度当初には想像もできないくらいに着実に元気にたくましく成長した姿に目を細める思いです。それはお散歩中に「梅は咲いたかぁ〜♪」ではありませんが、梅の桃色の花びらを発見するなど観察力や感性の面でも驚かされる日々となっています。食事では時間内に食べることであったり、食具もフォークから大人の仲間入りの一步の箸づかいも随分と様になってきた感じがします。自由あそびでブロックや積木を使った創作活動では2Dから着実に3Dの世界へと広がりを感じられます。そんな一人ひとりの成長ぶりをご覧いただく、園最後の生活発表会の準備を進めていますので当日をお楽しみにお待ち下さい。



♪今月の唄♪

★楽しいね

★はるがきた

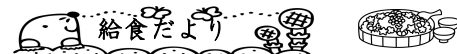
～行事予定～

- ・ひなまつり会…1日
- ・英語教室 …15日
- ・リトミック教室…4日
- ・発表会・巣立ちの会…16日
- ・内科検診…7日
- ・誕生会…19日
- ・お別れ遠足…8日
- ・避難訓練…27日
- ・体操教室…13日
- ・お別れ会…29日
- ・身体測定…14日

～保育のポイント～

本当に愛する、とは何なのでしょう？ 考えれば考えるほどおどろかしいことです。ですから、古くから思想家などが「愛とは何か」について追及してきました。それは、こどものために犠牲になってもいいと思う心に通ずるものではないでしょうか。他人から強いられた犠牲は悲劇ですが、自ら求めた犠牲は愛に結びつきます。愛に関連して、この奉仕や犠牲は決してこどもを過保護に扱うことではなく、「こどもの気持ちになってみる」ということで換言すると「こどもを受け入れる(受容)」と表現できます。あるいは、こどもの立場に立って考えてみること——と言っているように、「考える」こと以上に大切なことは、「感じる」ことで、謂わば こどもの感情がわかること(共感的理解)と言えます。この受容する心があれば、日々の気に入らないような状態を示すこどもに対してすくに叱りつけることがなくなります。そして、(どうして気に入らなくなるのか)自問自答していく内にこどもの不安になっている感情が理解できるようになり、「気に入らない」という自身の気持ちが意外にも自分本位の狭い料簡だったことにハッとさせられることが多いのです。それを実効せしめるために必要なことの一つに「こどもの発達」についての知識をもつことが求められます。例えば、自発性が順調に発達しているこどもには2歳から3歳にかけて第1反抗期が現れ、7、8歳頃には口答えが多くなります。このことが頭にあれば、その現象を楽しみに待つことができますが、そうでない「悪い子」と判断して叱りつけることになるでしょう。ちょっとしたこのような知識が養育態度の違いに現れ、それはこどもの人格形成を左右しかねないので、どの年齢で、どのように扱いにくい状態を知っておくことは共感的理解の下、こどもの心のびのびとした人格形成に必要であることが理解いただけると思います。

～第一子を伸びる子に育てる本(平井信義著)より抜粋～



給食だより

3月は弥生、春本番の時期といってもいい時期。ただ、昼夜の寒暖差や気圧変化により疲れやすくなったり、「天気が悪いと古傷がうずく」といった言い伝えがあるように頭痛、気分の落ち込みや関節炎といった気象関連痛に見舞われる他、持病の鬱や喘息が悪化したりしやすい時期なので体調管理面でビタミン類などの栄養がたっぷり含まれている旬の食材を摂り入れて健康管理をしっかりとしていこうにしましょう。幸いなことに、今月旬を迎える食べ物にはビタミン類やミネラルなどの栄養素が豊富で、寒い冬に弱った身体の調子を整えてくれる食材ばかり。例えば、鉄分やビタミンB群が豊富で貧血予防に役立つカツオ、丈夫な骨づくりには欠かせないカルシウムを含む春告魚のさより、その独特な香り成分のアリシンが(糖質をエネルギーへと変換する役目の)ビタミンB1の吸収率をアップさせてくれるニラ、体内の余分な塩分を排出し、高血圧症予防に役立つカリウムが豊富なトビス、抗酸化作用が老化防止や疲労回復に効果大なキウイフルーツ、そして免疫力を高めるビタミンCやお腹の調子を整える食物繊維にでんぷんを分解する消化酵素が含まれる蕪などがあります。これらビタミン類などの栄養素がたっぷり含まれている旬の食材を摂り入れた体調管理で元気に年度末そして新年度を迎えられるようにしていきます！

